

1. どのようなサービスが使えるか? (社会資源) → 障害、一般雇用?
2. リハビリ → 日中活動 → ティーアップ、訪看など 生活訓練など 訪問リハ
(介護保険 (就労系)) → 施設 特性に合ったところ
3. 障害サービス or 介護保険か?
4. 本人のニーズによって... 社会資源を考える!!
5. 長期的な金銭的な資源
6. 手帳申請後の配りが必要
7. 好きなサイクリングの提案... 発動性を上げる。
8. 服薬管理 → 訪看 "
9. 家族会の紹介など... " 当事者の会

演習2 グループワーク2 支援計画及び注意点等

グループ名 2

日中活動 =	本人の考え	家族	経費	移動支援の活用
・利用の活用 ・新常の利用で ・家族の意向 ・仕事復帰に向けた計画が ・良いか? ・ADL 職場の円滑性を高める ・支援が大切ではないか? ・外出で買収している = 移動支援 ・障害者こうは受けるか?	・復帰したいのか? ・行動範囲 ・本人のニーズは ・分かってる ・仕事への希望があるか?	・家族は ・どう思っているか? ・手帳について ・どう考えているか? ・よく見て ・やり取りしているか? ・かた	・金銭面は ・大丈夫	・行動範囲を ・スルーできるか? ・いい
		手帳 ⇒ OT, ST, 他職種 と連携している		⇒ 本人は取ってはいない 思っている人（アド） ⇒ 信頼関係が保たれている
	注意 → 本人の希望、ニーズは聞いてあげたいと思う。 (意欲が低いのに勝手に決めてはダメ) ・本人の今の状況を受けとめているか? (本人の気持ちを見てほしい)			

演習2 グループワーク2 支援計画及び注意点等

グループ名 3

- ・ 本人主体 (自己肯定感を下げない) 自己理解
- ・ 身辺自立
- ・ 生活上に楽しみがでけるとよい 外に出る機会を作る
インフォーマルなサロン・当事者会に参加
きろく ハーパー リハビリも利用
- ・ これまでの生活に近づけていく ^{障害雇用も考える} 高次能...に理解のあるところまでトレーニング
- ・ 収入を得る 1年後の復職を目標とする ^{ジョブコーチを入れる}
- ・ 家族の理解を深める 相談体制 ^{家族会等}
^{知識}
- ・ 父としての役割をになえとよい
- ・ 記憶障害の対処法 本人に合ったものを活用
- ・ くも膜下 再発防止

支援計画

支援

- ・服薬管理 処方箋、リハビリ。
- ・休職期間確認、A型での見学。
- ・専門職によるリハビリの評価
- ・生活訓練、就労系

・家族がでせると。

・片付けをする。外出の機会を増やす→復帰

・サウナ仲間と出掛ける。

・田中のAM 一人で退室する時間

・近所のボランティア参加。

注意点

- ・忘れっぽい。迷子になるため指示を出す時注意。
- ・情報を伝える時。
- ・アセスメント注意。点 伝え方。
- ・遠方の両親が連絡。

。情報収集

② 本人の希望

・ 復職の意向

・ 困り感

・ 趣味について

・ 家族の希望

。制度について

・ 介護保険

・ 医療保険

デイケア・通所リハ (活動量維持・外出機会の確保)

自立訓練事業所 (健康管理・生活リズム・社会技能獲得)



復職支援

就労移行支援事業所

→ 現職復帰



就労継続支援 A or B 型

計画を立てる前に...

◦ 何を優先させていくか？

- ・ 離職？ 復職？
- ・ 金銭面の問題
- ・ 本人がどうなっていきたいか？

◦ 病状説明・理解

- ・ 「ゴロゴロしている」

↳ なまけているとの捉え

家族にも病状について知ってもらう



◦ 福祉サービス

- ・ 機能訓練センター
- ・ 就A・B
- ・ 年金等

◦ インフォーマルサービス

- ・ 当事者の会
- ・ 家族会
- ・ 趣味のサークル

演習2 グループワーク2 支援計画及び注意点等

グループ名

⑦

<計画>

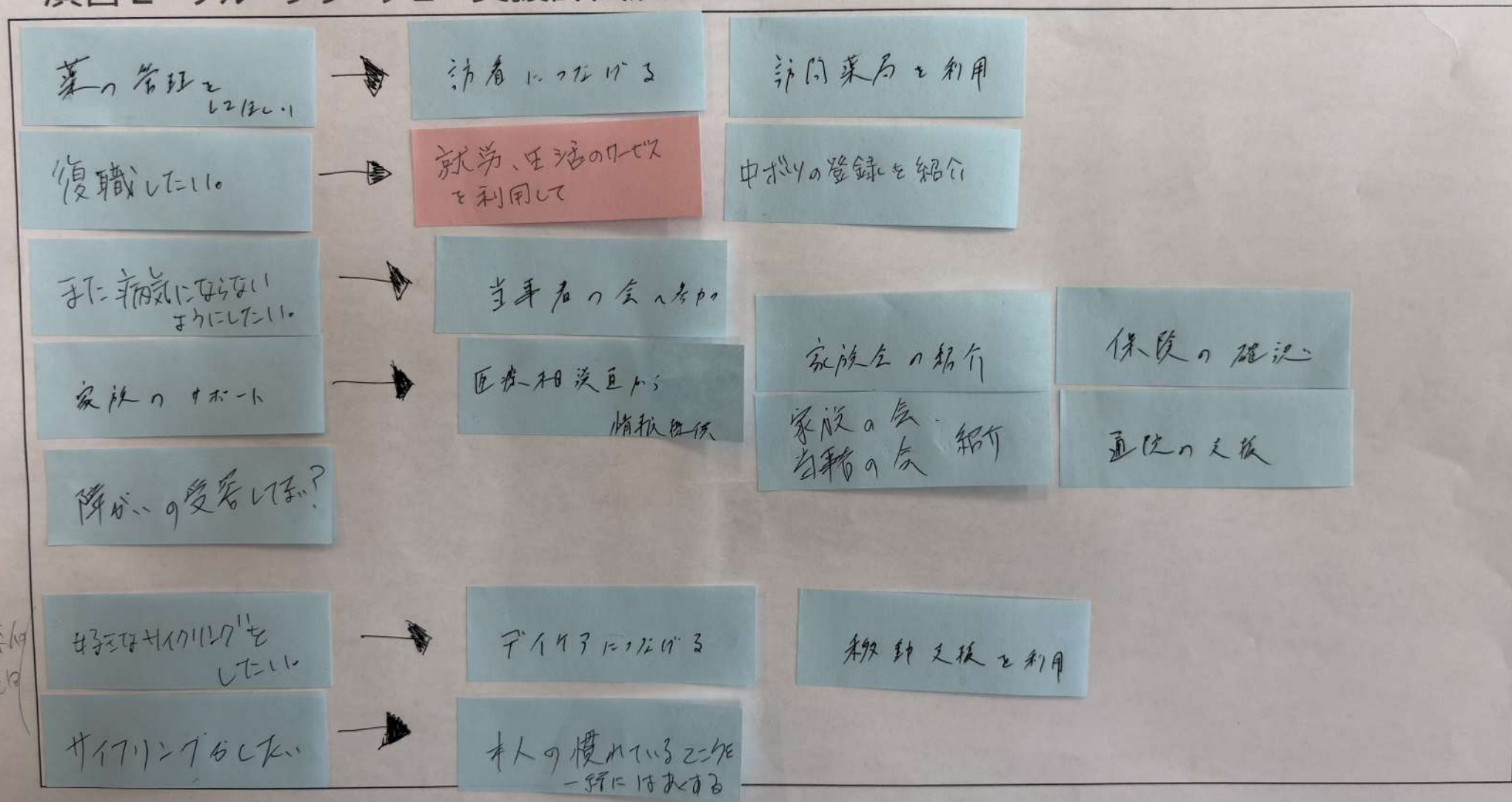
- ヘルパーを利用して整理、片付けをする。
- 介護保険の申請をする。 - 年金の手続きをする
自立支援、手帳の取得
- 1/16にやる。
- 規則正しい生活と(まじり) - 訪問、リハビリ
- 自立訓練を利用して～
- 職場復帰の石見 - 障害者 - 就業支援
- ピアサポート、当事者会の利用
- 移動方法の練習をする!! 運転 or 電車、バスなど
- 買い物、物の練習をする

<注意点>

- ・就業サービス等の利用について
- ・傷病手当金 / 1年半程度
- ・家族の負担軽減
- ・再発防止 - 服薬管理

演習2 グループワーク2 支援計画及び注意点等

グループ名 8



本人の
意向

- ・ 本人の希望の確認 (本人の困り事、困り事に対する解決策の提供)
 - ・ 障害者手帳をとり年金の申請をする
 - ・ 日中サービスの利用 (家族と相談して決めていく)
 - ・ 病院への付き添い (もしもの時は訪問サービスを利用検討)
 - ・ 自助会、互助会の利用 (家族のフォロー)
 - ・ リハビリに通い、本人の困り事を解決していく
 - ・ 仕事復帰に向けた支援をうける。
 - ・ 仕事復帰の道筋を目にみえた状態で説明する (本人・家族)
 - ・ 家族に向けて本人の病状を説明し、理解を得る。
- ・ 高次脳機能センターなど困ったらここに電話しよう! という情報提供をしていく。

1. 利用する制度への情報提供

↳ 金銭的な制度 (年金, 復職に必要となる情報)

↳ 今後に向けた活動に重点を置いたサービス (訪視・訪問) (通所事業所) (デイリハ)
ワーク・移行・移行・B型

演習2 グループワーク2 支援計画及び注意点等

グループ名 //

本人の希望と家族の希望が不明確

⇒ ある情報から推測すると...

- ローンがある
- あと1年1ヶ月で休職期間終了
- SEだが記憶障害、発動性低下、WAISの数値も見るとそのままだの職場復帰は難しい (SEとしての)

⇒ 元の職場に戻れるかどうかの把握

- 職場側に支援者がいるか?
(産業医やカウンセラーetc.)
- ・ 本人の就労能力のアセスメント
- ・ “ 生活能力 ”



★ まず生活リズムを整える... 目標①
(外に出かけることに慣れる)

↳ 何ができて何ができないのか把握

→ ローン負担なくする方法として
国信の内容も再確認する

※ 加入条件によっては高次脳障害でもローン支払いがなくなるかも?

★ 経済的負担の軽減... 目標②

★ 再発防止、健康観察... 目標③

→ 率の自己管理ができない

= 言方問看護士を利用してフォロー
(定期月訪問により本人の希望を聞き出す)

言方問サービスと外出するサービスの併用

戻れないなら...

- ・ 障害年金申請、手帳申請
- ・ 福祉サービスの利用申請
(相談支援専門員の活用)

戻れるなら... 会社と調整

演習2 グループワーク2 支援計画及び注意点等

グループ名 12

- ・生活のリズムを整える
- ・外出の機会を作る
- ・在宅勤務の出来た復職先を見つける
- ・手帳長取得し障害者雇用につなげる
- ・制度を活用してサポート
- ・本人の気持ちを最優先に
- ・妻の思いにも
- ・家族不在時や体調が回復出来ないとその服薬管理
- ・本人の役割を見つける → 本人の自信につなげる
- ・病前の強み(活動的・サイクリング)を取り戻す
- ・妻の働くことへの思い、経済的の思い
- ・いつでも以前の生活に戻るように
- ・家族会等が行えるように
- ・長期的には就業を目標とする
- ・家族の欲しい情報を知る
- ・雇用側の受け入れ体制にも注意

・復職希望プラン

収入の確保、年金の取得

生活面を整える。

生活訓練

↓ ある程度安定

職業センター

就労生活支援センター

(就職先・働きたい業種の確認、
障害者雇用？ 通勤できる？)

↓

受入あり
復職

↓ 不可

就労移行
就労A・B とか利用

注意！

本人の希望
家族の希望
をよく聞きとり
なければならぬ！

・働かないプラン

収入の確保 (お金を考える)

↓

デイサービス

日中活動の場をさがす。

・あらゆるお金の使い道を

フルに活用し、収入を確保する。

・定期的に通院・リハ出来る様に環境を整える。

(訪看, ハルパー等)

・傷病手当が出ている間に、復職の希望がある場合は、交番機関などの確認や、訓練的な事を行う。40代'後半'になったら、介保と福祉サービスの確保用い。

・日中活動の行える場をつくる。

・生活リズムの改善。今後の目標に向けての支援経過

・高血圧の受診の促す。

・買い物は、家族の同行。メモ等を持たせたりする

・障支帳や年金申請を行い。収入の見直しの検討。

演習2 グループワーク2 支援計画及び注意点等

グループ名 15

日常生活の向上

・訪問看護さん利用^{要の管理してもらう}

~~・他者との交流を促す。~~

・日中活動力と活動(=する) → 目的: 他者との交流を図る。

・自立訓練、就労支援など

・生活を安定させる → 就労B、就労A 復職支援

・外出支援の意向先を考える → ティ、いへせし等

・家庭内で役割を持たせる → ゴミ捨て等。

・行動範囲を広げる。